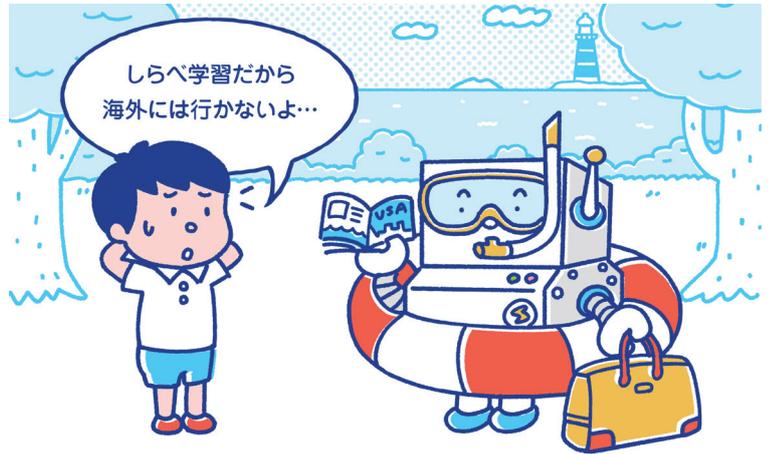


# 世界でも広がる 再生可能エネルギー

## 再生可能エネルギーって何？

化石燃料による地球温暖化など、エネルギーをめぐる課題は世界共通の悩みごとです。日本以外の国では、再生可能エネルギーを増やすためにどのような取り組みがされているでしょうか。



日本以外では、再生可能エネルギーの利用はどこまで進んでいるの？



ほかの大きな国の動きをおおまかに見てみよう。

アメリカ	2009年に大きな予算をエネルギー分野に割り当てて開発。水力を除いた再生可能エネルギー発電量は、世界最大。風力発電は、2010年から4年間で倍に増えた。
ヨーロッパ	1970年代の石油危機で再生可能エネルギーに取り組み、世界をリード。2020年までにEU全体のエネルギー消費の20%を再生可能エネルギーにする目標。
中国	2006年に再生可能エネルギー法ができて開発と利用が加速。発電所が作ることのできる電気の量(2014年)では、水力発電と風力発電は世界1位、太陽光発電は世界2位、バイオマス発電は世界3位など世界をリード。
その他の国	ブラジルはエネルギー消費の約40%が水力をふくめた再生可能エネルギーに。スペインはエネルギー消費の約50%が水力をふくめた再生可能エネルギーに。アイスランドはエネルギー消費の100%を水力と地熱による再生可能エネルギーに。



世界中で取り組んでいるんだね。



国によって力を入れている発電方法もちがうね。



各国の特徴が出ておもしろいね。毎年どんどん進歩しているから、今紹介した情報もあつという間に古くなってしまいうだろうね。

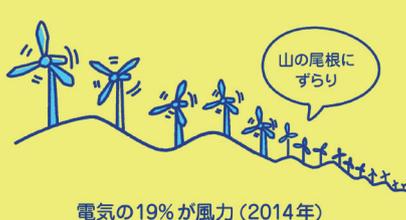
## まとめ

### 各国で工夫して取り組む再生可能エネルギー

アイスランド(人口33万人)では



スペイン(人口4677万人)では



ニュースを見るときは再生可能エネルギーもちょっぴり気にしてみよう

